

しぶや区議会だより

No.260

第4回定例会号
新年合併号

平成26年(2014年)
1月1日発行

主な内容

第4回定例会本会議の経過・議案等の概要と結果……2面
代表質問・一般質問(要旨)……3~6面
委員会の活動状況……7面
新春を迎えての各会派の抱負……8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎(3463)1096(直通)

渋谷区議会ホームページ
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>



富士山

一人ひとりがいきいきと輝く
安全・安心・希望のまち 渋谷を目指し

議長
前田 和茂



副議長
植野 修



あけましておめでとうございませう。

区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から区政並びに区議会の活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

渋谷区では、新たに幼保一元化施設四園を開園するとともに、特別養護老人ホーム「杜の風・上原」の開設や地域包括支援センターの拡充、健康日本一に向けての検討会設置など区民福祉の向上に力を注いだ年であります。

区議会においては、これらの諸施策を精力的に審議・審査する一方で、老朽化した区役所本庁舎の建替え問題を審議するため、庁舎問題特別委員会を設置し、第三回定例会において「渋谷区総合庁舎の建替えを求める決議」を決定し、それを受け、渋谷区では建替え案の検討に入りました。

新しい年を迎え、二月に「総合ケアコミュニティ・せせらぎ」に地域密着型特別養護老人ホームが開設するとともに、四月には待機児童ゼロのため西原、上原、神宮前に認定こども園の分園三園を設置し、「恵比寿のびのびこども園」を開園するなど、子育て環境の整備にさらに傾注します。お年寄りから子どもまで、いきいきと暮らせるまちづくりをさらに進めます。

また、二〇二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決まりました。新国立競技場に隣接し、東京体育館、国立代々木競技場を抱える渋谷区には今後さらに世界中から多くの方々が訪れます。世界に開かれたやさしい魅力的なまちづくりのため、渋谷駅周辺等の再整備とともにグローバルな観点からの都市基盤整備や、地域コミュニティの振興、国際化教育の推進などの諸課題に、財政状況の先行きを見据えつつ、スピード感をもって対応してまいります。

渋谷区議会は、区民の皆様が将来に明るい希望を持ちながら、生涯を健やかに住み続けられるまちを目指して全力で努めてまいります。引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年が区民の皆様にとりまして、より良い年でありますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

総務区民委員会委員長 下 嶋 倫 朗	議会運営委員会委員長 木 村 正 義
都市環境委員会委員長 吉 田 佳 代 子	自治権確立特別委員会委員長 齋 藤 竜 一
文教委員会委員長 菅 野 茂	交通・公有地問題特別委員会委員長 苫 孝 二
福祉保健委員会委員長 新 保 久 美 子	庁舎問題特別委員会委員長 丸 山 高 司

代表質問

総合庁舎の建替え、
高齢者福祉など 5 点を伺う



自由民主党
佐藤 真理 議員

総合庁舎の建替えについて

①庁舎問題特別委員会では他自治体への視察を重ね、調査・研究を深めている。今後は一刻も早い事業の確定と事業着手、早期完遂が必要。年度内にも事業者決定とのことだが、現在の進捗状況及び今後のスケジュールについて伺う。②仮設庁舎について、現時点で明らかにできることを伺う。

①ポイントとは、応募事業者が耐震性能、迅速性、経費負担等の評価基準に従って事業を絞り込むこと、本区の求める規模、性能等を有する基本設計、実施設計の実施を求めていることと考える。事業スケジュールは、十一月に法律・建築・公認会計士等の専門家、建築技術職員等で構成する庁舎問題検討会を設置する。年内に事業者を決定し、年度内に定期借地権の評価を行うとともに事業協定の内容を精査、検討する。基本

協定を二十六年第一回区議会定例会で協議したいと考える。

②区民サービスの利便性確保のため、現敷地から余り離れておらず、庁舎機能を分散することのないよう、まとまった敷地の確保が必要である。区有地である「美竹の丘・しばや」の敷地の一部を候補地として、建築可能な配置やボリューム、費用等詳細の検討を始めている。仮設庁舎の準備期間は約一年、その後約三年間仮庁舎を使用することとなる見込み。

高齢者福祉について

①医療関係者と介護関係者の連携を強化し、日本町東小學校跡地福祉施設に医療の相談窓口を設置してはどうか。

②二十六年一月から、渋谷区医師会の協力を得て高齢者ケアセンターで開設する予定。さらに地域包括ケアシステムの確立のため、医療と介護の連携の拠点となる施設の設置を計画する。

公園整備について

①幡ヶ谷・笹塚地区は防災上大切な公共空間が不足している地域であり、狭い道路が存在している。幡ヶ谷二丁目の企業所有地に隣接している場所と七号通り公園等を取り込み、防災のための公園や公共施設の一体的な整備を行えば、区の負担を必要最小限に抑えることができると考えるがどうか。②連続した緑を創出し、再開発と連携した緑と水を生かした空間づくりにより渋谷らしい景観形成を進めるためには「みやしたこうえん」の再整備が必要。駐車場との一体的な整備を推進するために、どのような事



くみやしたこうえん

業手法を活用するの如何

①地権者等と具体的協議を個別に進めている。防災公園の整備と同時に、高齢者住宅や福祉施設等の整備を考えている。地域の事業者や居住者に協力を得られるよう、整備方法については多様な方法を検討する。②渋谷駅周辺再開発のけん引役となるよう、渋谷駅中心地区との連携や、回遊性に富んだ魅力ある緑と水の空間軸の整備を目指す。公園等の整備については、民間の資金やノウハウを活用していく手法の活用を考えている。ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック開催を視野に整備を進めていく。公園と駐車場の併せ、商業施設等の導入の可能性も含め一体的な整備を検討していく。

防災対策について

①震災対策の基本である

区民の防災意識向上を図る新防災マニュアルについて進捗状況を伺う。②避難所運営について、障害者の方が避難できるスペースの配慮や、乳幼児がいる家族のために授乳、おむつ替えができる場所等を確保してもらいたい。

教育について

①新教育長として初の答弁にあたり、渋谷の教育に関してのビジョン、抱負を。②渋谷区立学校の在り方検討委員会答申について、特徴となる点は何のようなか。今後の渋谷の教育にどのように反映させるつもりか。③情緒障害児という考え方が浸透し、通級指導学級の増設が必要な時期と思われるが、対応を伺う。④平成二十七年四月の開校に向けて準備が進められている山谷・代々木両小学校を母体とする新校の名称が「渋谷区立代々木山谷小学校」となることが報告された。今後どのようなことに配慮し準備を進めていくか。

教育長

①学校教育ばかりではなく、生涯学習、生涯スポーツの分野にも取り組み、社会教育と学校教育の一体性が図れるよう努める。②教員の授

業力、指導力は学校経営の要である。今後の社会状況を踏まえ、人材育成・教育環境の改善を検討する。教員間で日常的に研修できる体制が必要となる。検討会では教育環境の在り方も議論されており、答申に基づき学校教育の充実を目指す。③増設の検討を開始した。一人ひとりを大切にすることを推進するため迅速に対応する。④新たな校章、校歌などを検討するとともに、地域の意見やアイデアを取り入れながら、地域から愛される学校づくりを進める。社会の急速なグローバル化等の時代表況を見据え、未来の国際社会を生き抜く人材を育成するための学校を目指す。

庁舎耐震化は区民参加で、
区民の暮らしを守る区政に
日本共産党
田中 正也 議員

国の補助金を活用すべき。②建替え案は、どの開発会社の案も庁舎の設計や建設費は不明。定期借地権料、庁舎の譲渡費用等も明らかにすべき。③福祉の増進という自治体の役割を投げ捨て、開発会社の儲けに奉仕する民間資金の活用は止めるべき。④住民、職員、専門家による庁舎の在り方検討委員会を検討すべき。



く渋谷区総合庁舎

くくくく雇用を守る区政に

①区民の雇用機会を拡大し、ブラック企業対策相談窓口を。公契約条例の対象を委託事業などにも拡大すべき。②来年度の国保料は値上げせず、独自の負担軽減を。③生活保護基準の引き下げを止めよう政府に求めるべき。基準額の引き下げで区の事業に影響しないようにすべき。

を増設し指導員を増員すべき

①待機児解消は本会議等の説明のとおり。ゼロ歳児は育児休業制度を活用し、我が身に抱きかかえて育てたい。③十分スペースは確保している。④幼保一元化施設へ機能移行しており再開しない。

国政問題について

集団的自衛権、秘密保護法に反対すべき。消費税増税と社会保障の改善をやるよ

子育て環境の改善について

①保育園の待機児解消は認可保育園の増設を進めるべき。ゼロ歳児入所希望者について、特別な事情のある者のみ受け入れるとの入所制限の方針は撤回すべき。②西原幼稚園の募集を再開し、区立幼稚園を存続すべき。③大規模な放課後クラブは、クラブ室

壁の安全や緑化に配慮すべき

建替えは区道を拡幅、擁壁の安全や緑化に配慮すべき

区長 消防庁に計画変更を求め、変更した旨報告を受けた。幅ヶ谷二丁目都営原町アパート跡地について

問 区が取得して福祉の総合施設として整備すべき。区長 都に下り下げを要望中。

松濤美術館、教育、区の広報、窓口対応等 5 点について伺う



公明党
栗谷 順彦 議員

松濤美術館について

問 三十年間、三十回行われた松濤美術館公募展の全入賞作品を集めた企画展を開催してはいかがか。

教育長 感動を与え、区民の美意識を高めるとともに、区民生活が豊かになるような企画展の開催を検討したい。

教育について

問 ①区の小学生が行う夏休みの自由研究で、「理数関係の研究」や「ものづくり部門の作品」をハチラポで展示してはいかがか。コンテストという形式ではなく、順位をつけずに学校推薦という形で実現していただきたい。所見を伺う。②携帯端末も含めインターネット接続機器のリスクとベネフィット(危険と恩恵)



▷こども科学センター・ハチラポ

の理解、携帯端末のリテラシー(正しく理解する能力)の向上のための情報提供、啓発、教育の取組が、教員、保護者子どもと連携しそれぞれに必要である。所見を伺う。③二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、渋谷はまさにその舞台の一部である。二〇二〇年に向け国の取組の前に、区独自の新機軸となる「英語教育」「英会話教育」「国際交流」に取り組んではいかがか。意見を聞きたい。

教育長 ①子どもたちの科学や数学への興味・関心を広げ、創作意欲につながる提言と考へる。今後、校長会と調整し、学校の協力を得ながら、実現に向けて課題を整理し検討していきたい。②子どもたちの安全なインターネット利用のための地域密着型教育啓発事業」を見守り、教職員対象と保護者対象に分けて実施し、

特に保護者への働きかけに力を入れていく。今後とも教育委員会と学校が十分に連携し、「子どもを被害者にも加害者にもさせない」という強い思いを持って、ネット教育のより一層の充実を努めていく。③渋谷区ではこれまで、国際社会で活躍できる子どもを育てるために、区立小中学校全校生を対象に外国人指導員を配置し、小学一年生から英語でのコミュニケーション能力の育成を図ってきた。渋谷区立学校の在り方検討委員会の答申等も踏まえ、渋谷区として「英語教育」「国際交流」などのより一層の充実を努めていく。

区の広報について

問 区制八十周年のセレモニーでのPRビデオを、区のホームページで配信することを検討してはいかがか。また、区の各所におけるPR動画の作成と配信について、所見を伺う。

企画部長 渋谷の魅力を広く世界に発信していくことは、国際観光都市を目指す本区にとつて大変重要なことであると認識している。今後検討していきたい。

区の窓口の対応について

問 ①庁舎の建替えに合わせて、案内や窓口業務の制服をつくり、渋谷区らしい制服で客を迎えられないか。文化ファッションインキュベーションションも三年目を迎え、それぞれのアトリエが企業として頑張っている。彼らがデザインする制服は既成の概念を覆すと思うが、意見を伺う。②窓口業務などの最後に「ご来庁いただきありがとうございます。」

と声かけてははいかがか。予算ゼロでできる「ご来庁ありがとう」と言いました。アクティビティ(活動)の推進について、意見を伺う。

手話通訳について

問 聴覚障害者が参加あるいは参加の可能性があるものには、積極的に手話通訳することが、聴覚障害者にとつての情報バリアフリー、共生社会の推進、また、手話の普及につながるかと考える。考えを伺う。

福祉部長 渋谷区聴覚障害者協会や、渋谷手話の会の協力で、平成三年以来毎年、手話講習会を開催している。手話講習会を開催している。手話講習会を開催している。手話講習会を開催している。

福祉部長 渋谷区聴覚障害者協会や、渋谷手話の会の協力で、平成三年以来毎年、手話講習会を開催している。手話講習会を開催している。手話講習会を開催している。



西原スポーツセンター、あいりっすんの活用等 6 点について伺う



無所属
長谷部 健 議員

福祉について

問 東京オリンピック・パラリンピックの開催を渋谷のまちづくりに取り込み、スポーツ施設と福祉施設を進展させ、国際文化観光都市としていくように国内外に発信していくことが重要である。

福祉部長 世界の都市の中でトップレベルの福祉を目指すために、福祉政策のテーマ「超福祉」を提案する。職員や区民が自分のできることを考えて、意識の壁を破る空気を区内に醸成させないといけない。「超福祉」をテーマに今後の福祉政策を進め、ITを駆使した政策等、意識を変えていってはどうか。

区長 意識を変える挑戦として、若手職員を活用していく。共生社会の実現こそ大切で、区政全般にわたり考えていく。セグウェイの導入について

問 エコで楽しく楽に乗れる電動セグウェイが、世界中で活用され始めている。試乗会で効果を体験してもらい、区内に広めてははいかがか。

土木清掃部長 現時点では公道での一般使用は認められておらず区が主体的に区内に広めることは時期尚早と考える。西原スポーツセンターのこれからについて

問 スポーツセンターは開設から三十年たち環境も変わった。新しい価値を付加し利用者がスポーツを楽しむ場所を能動的につくる必要がある。①グラウンド等の施設整備を充実して利用機会を増やし、コミュニティの核になり区民の健康意識を向上させる場所にする。②女性や障害者も楽しめるプログラムを提供する。③トップアスリートが指導する英才スクールの開設。

道での一般使用は認められておらず区が主体的に区内に広めることは時期尚早と考える。西原スポーツセンターのこれからについて

問 スポーツセンターは開設から三十年たち環境も変わった。新しい価値を付加し利用者がスポーツを楽しむ場所を能動的につくる必要がある。①グラウンド等の施設整備を充実して利用機会を増やし、コミュニティの核になり区民の健康意識を向上させる場所にする。②女性や障害者も楽しめるプログラムを提供する。③トップアスリートが指導する英才スクールの開設。

区長 ①②③子どもの体力増強やクラブ活動支援、生活習慣病にならないトレーニングや訓練、スポーツ技能の向上にも配慮することが必要。しっかりと戦略を持ち、利用の公平に配慮して着実な改善を図っていく。

ブルの活用機会向上について

問 渋谷保育園では民間スイミングクラブと連携してバスで送迎し、代々木サブプールで泳ぎ自宅近くまで送るシステムがある。同様なシステムで区のプールで教室を開き、子どもへの体力向上や低利用時間帯を埋める等の施策を行うことについて所見を伺う。

区長 早期に指導者に教えることが上達には大切。水泳部のキヤリアを持つサービス公社社員の指導と、水泳連盟の協力で、キッズタイムも含め小、ひがし健康プラザ等で指導しており、要請があれば派遣もしている。

問 積極的な広報戦略を持ち認知を広げるべき。①ハチ公



◀スポーツセンター

今後の保育施設について

問 十五年後くらいには保育ニーズが減ることが想定され、新築する保育施設はグループホームにリノベーション可能な設計や、パネル工法でつくり、十五年後には違う施設に作り変える等のテーマを持つことが必要だ。また自主保育団体等に補助金などの施設以外で応援し、待機児童解消を。区長 現在の人口構成は三代が一番多く、直ちに変化するのは思えない。保育ニーズへの対応に専心努力をしたい。人口が少なくなると収入も少なくなるといって、公共施設の圧縮化が必要になり、転用だけでは済まない時代が来る。青空保育については、ポランティア活動でやってもらうのが一番良い。

問 積極的な広報戦略を持ち認知を広げるべき。①ハチ公

問 パブリックコメントを行った際の区民意見の公開や区民参加型ワークショップを行うのか。検討委員会には外部識

庁舎の在り方や、自殺対策、子どもの防犯対策等を伺う



民主 党
治田 学 議員

バスに、あいらっすんをラッピンングしたあいらっすん号を走らせる。②キヤラクタービジネスをしたい民間企業に、ロイヤリティを含めてどのよう

高年齢者福祉について ①要支援者の介護サービス見直しによる財政面とサービスへの影響は。②今後の高齢者施設整備の展望を伺う。

政治参加、投票率向上について ①アンケートで区民に投票行動の意識を持たせるとともに目標投票率を設定しアピールしては。②駅周辺のテナン

者を入れるのかを伺う。 区長 建物の設計段階では意見を聞く機会を持つ。やり方は、庁舎問題特別委員会とも相談しながら方向を決めた。

子ども防犯対策について ①小学校三、四年生が作成した地域安全マップの情報を地域で利用できないか。また地図アプリでも使えるようにしては。②子ども一〇番の家への駆け込み訓練を。



平成 24 年度加計塚小学校 3 年生が作成した安全マップ

子ども防犯対策について ①西原幼稚園の募集再開を。②ホームページでの教育委員会の議事録は速やかに公開を。一定期間内に公開するよう規定を設けるべきでは。

インクルージョン社会、観光対策について等 4 点を伺う ①「インクルージョン」とは誰もが分け隔てなく一つのコミュニティとして共生する社会の在り方である。二〇

インクルージョン社会、観光対策について等 4 点を伺う



新民主 党
岡田 麻理 議員

を期する等の理由で作成に一定期間を要するが出来るだけ速やかな事務処理に留意する。教育長 ①保護者や地域に説明を行い対応。②期日に関する定めを設ける考えはない。

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

危機管理対策、区有施設等について質問する ①平成十九年策定「渋谷区国民保護計画」の安定ヨウ素剤等の平常時の備蓄内訳は。

危機管理対策、区有施設等について質問する



笹本由紀子 議員

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

子ども家庭部長 ①平成二十四年度の相談受付件数は千五百六十二件。うち児童虐待相談は百六十件。平成二十五年

*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。

介護保険制度、医療・福祉の改善について等 4 点質問する



日本共産党 黒 孝二 議員

招待費用の負担者と総額は。区長 ①専門性が高く区が備蓄すべきものでない。②費用四百九十万円余は渋谷区負担。

介護保険制度について

①要支援者への訪問・通所介護を、介護保険制度から外すことについて、政府に撤回するよう求めるべき。②保険料・利用料の引き上げはやめ、軽減制度の対象を広げるべき。③特養ホーム増設の新たな年次計画を策定すべき。

医療、福祉の改善について

①低所得高齢者の医療費を無料にする制度を創設するとともに、子ども医療費の無料化を高校生まで拡大すべき。

区長 財政負担等もあり、そのような考え方は持っていない

①耐震補強工事助成制度は既存不適格建築物も補助す

ることを周知すべき。②分譲マンション耐震化促進のため補助額の引上げなどするべき。③障害者団体施設に対する震災対策を強化すべき。

地球温暖化対策について

①温暖化対策条例を制定し、温室効果ガス排出抑制の具体化を進めるべき。②保存樹木補助事業を復活し、緑化対策を強化せよ。

都市整備部長

①条例を制定する考えは無い。②多様で実効性のある取組で緑化を図る。

一校一国運動、成年後見制度について伺う



民主党 須田 賢 議員

一校一国運動について

二〇二〇年東京オリンピックを身近に感じられるよう、一校一国運動に取り組むのはいかがか。

教育委員長

一校一国運動は、異なる文化を理解するのみにとどまらず、自分自身の国について考える良いきっかけともなり、意義のある取組である

区役所の在り方について伺う



民主党 吉田佳代子 議員

区役所の在り方について

マイナンバー関連法案が国会で可決・成立し、業務の効率化等が図られるが、本庁舎の建替えが決定した場合、目指す区役所の総合的な在り方を伺う。①区民の利便性向上が期待できるマイナンバー制度を始めとするITの活用や、手続き時間の短縮を図れる総合窓口の導入を考慮するべ

ると理解する。しかし、東京都やJOC、参加各国等との協議・調整も必要であり、具体的な答弁は時期尚早である。

成年後見制度について

①制度の周知にどう取り組むか。②市民後見人養成研修の状況は。③内容の理解を深めるため、制度の普及・啓発を推進していくべき。

福祉部長

①地域包括支援センターや民生委員等との連携を密に実施する。②東京都が実施している講習会に参加してもらおう。二十六年度以降、区に養成事業が移行するため準備中。③成年後見支援センターにおいて徐々に実施中。

議会情報公開・個人情報保護実施状況



情報公開関係	
平成二十五年十月一日、十一月三十日	
請求件数	一件
文書件数	二件
公開件数	二件
非公開件数 (不存在)	二件
個人情報保護関係	
平成二十五年十月一日、十一月三十日	
請求件数	〇件

トルコ共和国都市交流訪問

昨年十月二十七日から三十一日まで、トルコ共和国政府の招待を受けて、桑原敏武区長と共に前田和茂議長、松岡定俊議員、木村正義議員がマルマライプロジェクト開業セレモニーに出席するため、トルコ共和国を訪問しました。

セレモニーへの出席前日の十月二十八日には、ウスキュダル区を公式訪問し、ムスタファ・カラ区長、オメル・サラク副区長、ヒリミ・トルコメン副区長など多くの人々の歓迎を受けました。

訪問では、桑原敏武区長からプロジェクトの成功をお祝いするとともに、さらなる両区の文化交流を深めていくことが大切であると述べられました。ムスタファ・カラ区長からは、訪問へのお礼とともに、渋谷区から送られた起震車により八万人の子どもたちが地震体験をしたことに対する感謝が述べられました。また、現在建築が進められているウスキュダル区新庁舎完成時の再訪を要請されました。

十月二十九日はセレモニーに出席しました。マルマライプロジェクトとは、イスタンブール市のヨーロッパ側とアジア側を隔てるボスポラス海峡の海底にトンネルを建設し、地下鉄で結ぶプロジェクトであり、ウスキュダル区に新設されたウスキュダル駅前の特設会場で開催されたセレモニーが行われました。セレモニーには、トルコ共和国のアブドゥル・ギユル大統領、レジェップ・タイイップ・エルドアン首相をはじめ、多くの参加者が出席し、日本からは安倍晋三首相も参加しました。

台風二十六号による災害で被災された皆様へお見舞い申し上げます

台風二十六号で被災された東京都大島町に、渋谷区議会議員一同より災害義援金として十六万五千円を贈りました。

次回定例会のお知らせ

平成二十六年第一回定例会は、三月に開かれる予定です。主に、平成二十六年度各会計予算が審議されます。本会議は、初日と二日目に代表質問及び一般質問、また、最終日に議案の議決等が行われる予定です。本会議・委員会とも傍聴できますのでお気軽においでください。

会派等一覧

(〇)幹事長 / (〇〇)副幹事長	
平成 25 年 6 月 21 日現在	
渋谷区議会自由民主党議員団	TEL 346310334
◎木村 正義	下嶋 倫朗
◎松岡 定俊	前田 和茂
斎藤 竜一	丸山 高司
佐藤 真理	染谷 賢治
渋谷区議会公明党	TEL 346310336
◎沢島 英隆	栗谷 順彦
◎広瀬 誠	古川斗記男
◎久永 薫	植野 修
日本共産党渋谷区議会議員団	TEL 346310338
◎牛尾 真己	田中 正也
◎五十嵐千代子	菅野 孝二
◎新保久美子	菅野 茂
民主党渋谷区議会議員団	TEL 34631042
◎芦沢 一明	◎治田 学
◎鈴木 建邦	吉田佳代子
無所属クラブ	TEL 34631046
◎薬丸 義人	伊藤 毅志
◎長谷部 健	小柳 政也
新 民 主	TEL 34631097
◎佐々木弘明	◎岡田 麻理
無 所 属 (議席番号順)	
毎本由紀子	TEL 346311098
堀切 稔仁	TEL 346311082
須田 賢	TEL 346311060

構成人数が
3 人以上の会派

新春を迎えての各会派の抱負

渋谷区議会自由民主党議員団

防災、子育て支援、高齢者福祉施策を推進・拡充し「安心して住み続けられるまち渋谷」を実現します

あけましておめでとうございます。

昨年は区民の皆様より、力強いご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。自由民主党議員団は、責任会派として区民ニーズを真摯に受け止め、区政の課題解決に果敢に取り組み、安全・安心のまちづくりの推進に努めております。防災対策については、避難所対策・災害時医療体制の充実や帰宅困難者対策を着実に進めます。さらに庁舎建替えについては、災害対策の拠点として事業継続の確保を図り、区民サービス向上のため、迅速かつ的確に推進してまいります。子育て支援については、待機児童ゼロを目指すとともに良質な保育環境の整備を図ってまいります。高齢者福祉については、一か所に拡充された地域包括支援センターを中心とした地域包括ケアシステムの推進と旧本町東小跡地の特別養護老人ホーム等の建設を進めてまいります。まちづくりでは、文化観光都市の実現に努めてまいります。教育については、来春開校の代々木山谷小学校の建設を進めるとともに、グローバル社会において活躍できる人材育成を目指してまいります。本年も、引き続き区民の視点に立った区政の実現を目指し、議員団一同全力で取り組んでまいります。

渋谷区議会公明党

「ひとりの声を大切に！」安心・安全の区民生活を守るため、政策実現に全力で取り組みます

新年明けましておめでとうございます。昨年は、皆様より力強いご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。渋谷区は厳しい財政状況の中、区民福祉や区民サービスを維持しながら、重点課題である子育て支援、高齢者福祉、防災等については積極的に財政出動し、推進してきました。

子育て支援では、数年来、全力をあげて取り組んできた保育園の待機児解消への取組で、新規に認定こども園四園・保育室一室の開設、既存園の定員拡大など、平成二十五年年度だけで五百六十四人もの定員拡大が実施されました。高齢者福祉では、昨年四月に「杜の風・上原(特養八十床・ショートステイ二十床)」がオープンし、さらに、本年二月には、総合ケアコミュニティ・せせらぎ内に地域密着型特別養護老人ホーム(特養二十五床・ショートステイ六床)も開設します。防災対策では、「災害対応力日本一」の評価に甘んじることなく、帰宅困難者受入施設の積極的な拡大をはかり、地域防災マニュアルの新規作成、消火栓スタンドパイプ配置など、さらなる拡充を図りました。本年も、私ども公明党は、どこまでも「ひとりの声を大切に！」更なる区民福祉・区民サービスの充実に努め、皆様の声を区政に反映して参ります。

日本共産党渋谷区議会議員団

負担増、福祉きりすてをやめ、区民のくらし最優先に区庁舎の耐震化は住民参加で練り上げるべき

新年おめでとうございます。

安倍内閣は国民の民意に背き秘密保護法、消費税増税や社会保障の改悪、原発推進、TPPなど暴走しています。しかしこの暴走を許さない国民の共同のたたかいが各分野で広がっており、私たちはその先頭にたつてがんばる決意です。桑原区長は、区庁舎の耐震化について、区民に耐震補強か建替えかの情報をまったく知らせず「建替え」を強行しようとしています。しかも、区民の大切な財産である庁舎の土地を開発業者に七十年間貸し付け、高層マンション等を建設させることは許されません。こうした大企業奉仕の一方、区民には国保料や介護、医療保険料を値上げし、高齢者の配食サービス削減、さらに子どもたちを犠牲にした区立保育園、幼稚園の廃園、学校の統廃合など、負担増と福祉切捨てを強行しています。私たちが行った「くらしと区政のアンケート」では、七十四%の方が「くらしが苦しい」と答え、「節約しよう」でも、もうできない」「など、きびしい暮らしの実態が寄せられました。いまこそ、渋谷区が、悪政の防波堤として、区民の負担を軽減し、くらしと中小企業の営業、福祉、教育が優先される区政をめざし、全力をつくします。

民主党渋谷区議会議員団

安心できる社会保障の仕組みづくりへ、地域から再出発をめざします

明けましておめでとうございます。私たちは地域からこの一年、納税者・生活者・勤労者・消費者の皆さんの声を代弁する勢力として再生をめざす決意です。とくに、社会保障をめぐる課題では、今春からの消費税引上げについて、国民に対する約束どおり、増収分は社会保障充実のための財源として充てられるよう強く求めています。子育てなど、いづれも国が仕組みを決めている社会保障制度でありながら、毎日のサービスは区が運営を担っているものが多くあります。政府が検討している介護保険要支援者のサービス給付縮小も、渋谷区は要支援1・2の方々が要介護認定者の四割と全国平均よりも多く、地域福祉への影響は極めて大きいものがあります。安心して暮らすための制度構築へ声を上げていくことが必要です。

総合庁舎の耐震をめぐる課題では、区議会が建替えが決議されたことを受けて、これまで求めてきた区民への情報開示の徹底と、区民参加によるプラン策定の具体化を求めてまいります。新しい庁舎が、時代にふさわしいサービスと渋谷区の新しい地域福祉の拠点としてふさわしい機能が備えられるよう、提案を続けてまいります。

無所属クラブ

小さなお子さんからシニアの方々まで、「みんなが笑顔で暮らせるまち・しぶや」を創ります

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2020東京オリンピック・パラリンピックの開催決定という、素晴らしいニュースが全国を駆け巡りました。競技会場がある本区も六年後に向け、今からソフト・ハード両面において、しっかりと準備をしていかななくてはなりません。特にパラリンピックは、国内外から多くの障がい者の来訪が見込まれますので、これを好機と受け止め、区内のバリアフリー化を更に進めていくよう全力で取り組みます。また昨年は第三回区議会定例会において「渋谷区総合庁舎の建替えを求める決議」を賛成多数で決定し、区長もこれを推進していくと発言されました。新庁舎建設にあたっては、五十年後、百年後の渋谷の未来を見据えて、しっかりと区民の声を聴き、それを反映させる努力をしてまいります。無所属クラブは昨年六月に所属議員が一人増え、四人会派となりました。若さや体力を武器に、これまで以上に早期知恵を出し合い、区民の抱える諸課題の早期解決に全力を尽くすとともに、夢と希望を帯びた「みんなが笑顔で暮らせるまち・しぶや」を創って参ります。皆様の今年一年のご健康・ご多幸を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。

議員の年賀状等は廃止しています

渋谷区議会では、平成元年第四回定例会において「虚礼等廃止に関する決議」を行いました。区議会議員の年賀状・寒中見舞いなどの挨拶状は廃止しておりますので、この紙面を借りて、ご挨拶に代えさせていただきます。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



■ 区議会事務局調査係
TEL 3463-1096
FAX 5458-4939
● 電子メールアドレス
kugikai@city.shibuya.tokyo.jp



あけましておめでとうございます

今回は、第4回定例会の内容と新年のご挨拶を掲載しました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。本年も宜しくお願いいたします。

